

片平地区社会福祉協議会

ふれあい片平

発行 令和 6 年12月

◆全体研修会◆ 木下順子さんのピアノ演奏

音楽で世界一周したような 楽しさを味わった

7月10日(水)の午前、片平市民センターを会場に、全体研修会としてピアノの演奏会を開催しました。

ピアニストは木下順子さん。昨年のタタル・ヘンリさんのヴァイオリン演奏会ではピアノ伴奏を担当、タタルさんご夫妻のデュオでした。昨年の演奏会終了後、「来年は是非奥様のピアノ演奏をお聞きしたい。」との声があり、お呼びしました。

今年は「北欧からヨーロッパまで」というテーマでのピアノ演奏、様々な国の音楽を演奏してくださいました。皆さんが驚いたのは、会場のアップライトピアノの足の前の板を外し大きな音で演奏してくださったこと。「弘法筆を選ばず」で、悪条件のピアノをものともせず聴衆を魅了しました。

トークとクイズも交えて楽しく

演奏だけでなく作曲家や曲の紹介を兼ねたトークも楽しいものでした。「よく知っている曲だけど、曲にまつわる話を初めて聞き、更に親しみがわきました。」と参加者の声。最後に童謡「おひな様」をみんなで歌った後、歌詞に関するクイズが出されました。一同ちょっと緊張の様子。正解者にはタタルさん木下さんのデュオ CD がプレゼントされ、大喜びでした。

一人ひとりの心に響いた演奏

- ・久しぶりに生の演奏を堪能しました。
- ・音楽で各国の旅を紹介していただきとても素敵でした。今日一日素敵な時間を過ごせました。素晴らしい時間をありがとうございます。
- ・ステキな時を過ごせました。気持ちをリフレッシュし、少しでも活動に関わりたいです。特にラフマニノフが良かった。
- ・色々な国の曲が聴けて、選曲が良かった。クイズもあり、とても楽しめました。すばらしい演奏が聴けて、心が豊かになりました。アレンジもステキでした。参加できてよかったです。
- ・ピアニスト(木下さん)の立ち居振る舞いが素敵でした。
などの感想が寄せられました。



木下順子さん

仙台在住。東京藝術大学 同大学大学院修了。チューリッヒ音楽大学にてソリストディプロマを取得。新人音楽オーディションにて最優秀賞受賞、宝塚バガ音楽コンクール第3位、川崎音楽賞コンクール第2位受賞。植田克己、クラウス・シルデの各氏に師事。夫でバイオリニストのタタルヘンリと様々な演奏会を多数プロデュースしている。

訂正のお知らせ

今年の第1号で福祉班の紹介に誤りがあり訂正いたします。申し訳ありませんでした。

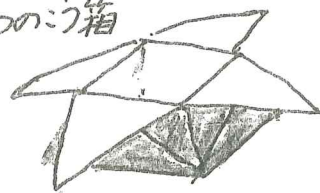
北目町福祉班 百瀬えみ子さん(誤)→百瀬みえ子(正)さんです。

各班の活動紹介

大広会福祉班 サロン大広会 おしゃべりで楽しく美味しい昼食として折り紙

6月17日、良覚院丁「緑水庵」にてサロン大広会を開催。今年初めての開催でした。参加者は一人暮らしの方が多く、おしゃべりをしながらお弁当をいただくのは、とても楽しく、お弁当もより美味しく感じられたようです。この日は折り紙で鶴や風船、つこう箱（小物入れ）など教え合いながら作りました。手も口も動かしながらの作業で楽しい一時となりました。参加者16名（役員7名）

つこう箱



霊屋下福祉班 6月22日、夏の花壇づくり「あなたのセンスでどうぞ！」

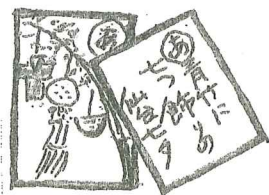
20年ほど前、当時の穴藏神社の境内にひっそり建つ町内会集会所。寿会（高齢者の会）から声が上がりました、「集会所前に花があつたらいいね。」と。これをきっかけに花壇づくりがはじまりました。今や花壇は町内4ヶ所に増え、参加年代も広がりつつあります。それぞれの場所で作業を手分けし、1時間ほどで季節の衣替えを終えます。

「花の組み合わせはあなたのセンスで。」「この花は前列がいいね。」などとおしゃべりの花を咲かせながら。継続することはとても大変なことです。町内会と福祉班が協力し、チームワークを育てながら楽しく続けています。

北目町福祉班 弁当を届け、喜んでいただけるのが「やいがい」

主な活動はお弁当の配食です。年に3回予定しております。役員の人がお弁当を届けに行くと、皆さんニコニコと笑顔で「いつも美味しいお弁当をありがとう。」と、感謝の気持ちを伝えてくれます。役員一同この言葉でやりがいを感じ、嬉しさと元気をいただいております。これからもこの活動を続けていきたいと思っております。現在は配食中心ですが、将来はサロン活動もできるようにしたいと考えております。

柳町福祉班 お茶っこ会 楽しく仙台を知ろう 子どもたちも参加



6月23日作家の佐々木ひとみさんに「マチモリ〜杜の都は不思議のまち」より、柳町のお話をいただき、イラストレーターの本郷けい子さんに仙台の歴史や文化を盛り込んだ「仙台おさんぽカルタ」をお話しいただきました。

参加者の高齢化が進むなか、今回は子ども会にも声掛けして、保護者と共に楽しんでいただきました。

米ヶ袋福祉班 プレゼントと共に見守り、準備が交流の場

福祉員はささやかなプレゼントをお届けしながら見守り活動をしています。今年度上期は、ゴミ袋と「熱中症予防」のリーフレットのセットを、70歳以上の427世帯分用意しました。今までは町内会役員のみで用意していましたが、今年は福祉員の力も借りることにしました。その結果、時間短縮はもちろんのこと、町内会役員と福祉員との交流の場となりました。同じ作業を通して理解し合い、交流が深まる嬉しさを感じました。

花壇大手町福祉班 5年越しで実現、参加者全員でかっぽれ踊る

新型コロナ感染拡大前、次回の「喫茶室よつば」は「かっぽれ」と決めていたのですが感染拡大で中止に。それが今年5年ぶりにようやく開催できることになり喜びいっぱい。とはいっても未だ飲食+お喋りは禁止の条件に苦慮。会場は、舞台装置のある憩の家と決め、弁当と飲物はお土産とし、鑑賞に集中。最後は参加者一同で「ねじりハチマキとたすきがけ」で「かっぽれ」を踊って幕となりました。

